

# 釜石シーウェイブス、この素晴らしいチームに誇りを持ってください。 どうもありがとうございました。

アンドリュー・ファーガス・マコーミックさん

釜石シーウェイブスで活躍し、  
今シーズンで引退したマコーミックさんに、  
ニュージーランドへの帰国直前にインタビューしました。



2年間の釜石シーウェイブスでの活動を振り返っての感想をお聞かせください。

釜石はラグビーの町だということだけでなく、景色も、地域の方の人柄も、パッション（熱い情熱）もニュージーランドに似ていて、家族ぐるみでバーベキューをしたりしながら楽しく過ごすことができました。釜石シーウェイブスで選手としてもう一回プレーするチャンスを得て、自分自身ありがたかったので、そのお返しにチームをサポートすることが大切だと考えていました。とりわけ、ラグビーに対する姿勢や態度ということでは、経験の少ない若い選手に、準備段階から試合に臨むまでのプロセスを教えてくださいました。今年はタフな良い試合ができ、一段ステ

ップアップしたことから分かるように、多少なりとも力になれたのではないかと考えています。

## 12年間の日本でのラグビー経験はいかがでしたか？

僕の人生にとって大きな12年間でした。26歳で日本に来たときはわがままでしたが、周りの人のことを考えることを学び、どんなことでも真剣に取り組めるようになりました。

日本でいいものをたくさんもらいましたので、お返しすることが大切だと思います。釜石シーウェイブスでお返しすることができたのではないかと思います。

## 2月21日、秩父宮での最後の試合の後に、グラウンドを一周し、ファンに挨拶されました。そのときの気持ちをお聞かせください。

日本選手権関東学院戦はチームがとても良いパフォーマンスをしていただけに、負けてノーサイドになってからは、悔しくてたまりませんでした。でも、チームには将来性があります。この間、成長してきましたから次のステップが楽しみです。そんなチームへの期待を胸に、秩父宮ラグビー場をファンから借りた応援旗を掲げながら挨拶して回りました。

## 最後に、大勢のアンガス・ファンに一言お願いします。

今年は今まで以上に熱い応援をもらいました。釜石シーウェイブスのサポーターは他のチームの選手もうらやまがっていることでしょう。サポーターの皆さんはこの素晴らしいチームに誇りを持ってください。どうもありがとうございました。



高橋善幸  
事務局長

強くなることでサポーターを増やし、強力なサポーターが強力な運営基盤を作り、それがチームを強くするという構図を作っていきたいと思っています。ぜひ皆さんもシーウェイブスの会員になってください。これからも応援よろしくをお願いします。



桜庭吉彦  
ヘッドコーチ

日本選手権の関東学院戦は惜敗したものの、今シーズンのベストゲームで、来季につながるゲームでした。もっともっと強くなる可能性のあるチームであり、トップリーグを目指して頑張りますので、応援よろしくをお願いします。

## プロフィール

Andrew Fergus McCormick、ニックネームはアンガス。1967年ニュージーランド生まれ。ニュージーランド・カンタベリー州代表。1992年から東芝府中、1995～1998年は同キャプテンとして、全国社会人大会2連覇、日本選手権3連覇。1996～1999年日本代表、第4回ワールドカップでは日本代表キャプテンを務める。1999年現役引退し、2000～2001年同ヘッドコーチ。2002年に釜石シーウェイブスで現役復帰。